

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

日常の中で感じたちよつとした疑問をうやむやにせず、深く探究していくことはとても大事なことです。たとえば、(1) 子どもは学校に行かなければならないのでしょうか。「だって、そう決められているから」で終わらせずにもう少しよく調べてみると、いろいろな面白い説に出会えることもあります。こんなことが言われています。(2)、古代や中世と呼ばれた時代、子どもは学校に行くこともなく、大人とともに小さい頃から一緒に働いていました。それがやがて近代という時代を迎えます。近代は理性を重視する時代と言われます。理性とは論理的に物事を正しくとらえる力のことです。(3) 子どもというのは往々にして理性的ではありません。感情に任せて暴れたり、筋の通らないことを言うてだだをこねたりします。理性重視の社会にそのような存在が紛れ込んでいては面倒ですね。(4) 近代の人々は、子どもという非理性的存在を一つの場所に閉じ込めて、理性的な振る舞いができるように訓練することにしました。それが学校という空間の始まりだったとも言われるのです。こんなふうに日常のちよつとした疑問をうやむやにせず、深く探究していくことでいろいろな学びが得られます。(5) 疑問こそ学びの原点なのです。

ア だから イ つまり ウ どうして エ かつて オ ところが

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「空気を読む」という言葉は「その場の雰囲気から状況を推し量る」という意味で使わ



れている。日本人は空気を読んで行動することを美德とくと考える傾向けいがあるように思う。

(6) その場がどういった場であるかを察して、それにふさわしい行動をすること自体は悪いことではない。

(7) _____、空気を読むことによって、真実まことが覆おほい隠かくされるようなことがあれば問題である。

(8) _____、ある企業きぎの幹部かんぶの汚職おしよくに部下たちが気づいていながら、空気を読んでそれを公けにしないなどということは決して許ゆるされてはならない。

このような悪い形での「空気を読む」の背後はにあるのは大概たいてい「同調圧力あつ」である。(9) _____、

集団の中で、少数意見を持つ人に対して、周囲の多くの人と同じように考え行動するよう
に暗黙もくのうちに強制せ制することである。この「同調圧力」が作動さくどうしないようするには、集団
は多様な成員によって編成へんせいされることが理想的である。

(10) _____「空気を読まない」メンバーの存在そんざいが重要なのである。

カ 確かに キ しかし ク とりわけ ケ すなわち コ たとえば